六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより　第３３号
校長　齋藤　啓悦
令和２年１１月３０日

郷土Yamagataふるさと探究コンテスト「優秀賞」

がんばる六中生！　これまでの活動が評価されました

２８日（土）に山形市の「遊学館」で「令和２年度郷土Ｙａｍａｇａｔａふるさと探究コンテスト」が県教育委員会主催で開催されました。小学生・中学生・高校生が、授業や地域活動で自分の住んでいるところについて主体的な学びや体験活動などの成果を発表するコンテストです。

県全域の学校９１チームから応募があり、一次審査を通過した９チームが当日発表を行いました。中学校は３４チームの応募があり、発表したのは３チーム（３校）のみになります。

六中は、「再発見　～酒田を知り　酒田に学び　酒田のよさを発信～」のテーマで、「総合的な学習の時間」で学んでいる１年生の「ふるさと探訪」とその成果をまとめたパンフレットの活用、２年生の「職場体験」、３年生の修学旅行での活動（今年は中止）までの３年間の一連の活動を紹介しました。また、生徒会で取り組んでいる地域貢献活動など地域との関りについて発表しました。発表してくれた３年生５人の態度、発表の仕方、そして内容もたいへん素晴らしく、六中の代表として堂々と六中や酒田市の良さを発信してくれたと思います。審査員の方々からは「発表から元気をもらった」「キャリア教育の３年間のまとめになっている」「地域を知るところから発展的な学びになっている」などの講評をいただきました。

結果は大賞とはならず「優秀賞」でしたが、中学校最終３校に残っただけで素晴らしいと思います。どの学校の発表も素晴らしく、順位はつけられないというのが見ていての感想です。小学校から高校まで他校の発表からも多くを学びました。たいへん貴重な経験となりました。

最後に県の教育長さんから直接賞状をいただき、一緒に記念写真も撮らせていただきました。（スペシャルゲストのミッチー・チェンさんも一緒です）

今回の受賞は今年だけでなく、これまで関わっていただきました多くの関係者の皆様のおかげと思っています。改めて感謝申し上げます。今後も六中生を応援していただきますようお願いいたします。

１、２年生で「人権教室」を開催

酒田人権擁護委員協議会の皆様のご協力により、２５日（水）、２６日（木）の朝の時間を使い、１年生、２年生で「人権教室」を開催しました。１５分という限られた時間でしたが、全国人権作文コンテストの入選作品「『いじり』は『いじめ』」を紹介していただきながら、人権についてはもちろん、今の中学生のいじめやＳＮＳトラブルに関わること、いのちの大切さについてなど大事なことを学ばせていただきました。

いじめについては道徳などでも学んでいますが、生徒には改めて相手の立場になって考えた言動をするなど自分の生活を振り返って、今後の生活に生かしてほしいと思います。

人権擁護委員の皆様、事務局の皆様、貴重な機会を提供いただき、ありがとうございました。